

# 静かなる男逝く

麻田春太

その男は

私と同級生だった

相撲好きで私は

地べたに環を描いて

その男に挑戦した

いつも受けて立つ姿は

大きく見えた

むんずと組んだと思ったら

私は地べたに手をつけていた

何度も

同じだった

呼吸を整えて

凡ゆる手段を取っても

その男は

静かに受けて立った

その男が

私より先に逝った

それは湯船からあがり

ふらく／＼としながら

寢床まで行き 横になって

そのまま逝った

生きている時も静かだったが

死も静かだった

その男の胸は

私に吸い取られたように

空洞だった